



# 2023年3月期 第1四半期決算報告

2022年8月4日

株式会社 **ニコン**

1. 2023年3月期 第1四半期決算報告

2. 2023年3月期 通期見通し

## Q1実績

- 売上収益： 1,456億円
- 営業利益： 153億円 (全てのセグメントで営業黒字)
- 当期利益： 118億円  
(親会社の所有者に帰属)

## 前年比

- 売上収益： 134億円増
- 営業利益： 46億円減
- 当期利益： 40億円減  
(親会社の所有者に帰属)
- 利益水準は、前年の土地売却や米国年金による一時利益の影響を除けば、前年並み
- 精機事業以外のセグメントで増収増益
  - 映像事業： 112億円増収、44億円増益 円安効果と製品ミックス改善
  - 精機事業： 104億円減収、94億円減益 FPD露光装置の販売台数減
  - コンポーネント事業： 52億円増収、33億円増益 部品・コンポーネント販売増

注：本資料で使用している数値は、億円未満は切り捨て

注：22年3月期第1四半期の一時損益は、土地・建物売却益 23.5億円、米国年金 19億円 (米国年金は、米国子会社の年金制度の変更に伴う一時的な利益を2022年3月期に計上)

# 2023年3月期 Q1：財務ハイライト



単位：億円	22年3月期 Q1実績	23年3月期 Q1実績	前年比
売上収益	1,322	<b>1,456</b>	+134
営業利益	199	<b>153</b>	▲46
営業利益率	15.1%	10.5%	
税引前利益	211	<b>165</b>	▲46
税引前利益率	16.0%	11.3%	
当期利益 (親会社の所有者に帰属)	158	<b>118</b>	▲40
当期利益率	12.0%	8.1%	
FCF	▲28	<b>▲31</b>	▲3
為替：USドル	110円	<b>130円</b>	売上収益への影響 +107
ユーロ	132円	<b>138円</b>	営業利益への影響 +26

円安効果等により前年比増収も、前年の一時利益の剥落を主因に減益

# 2023年3月期 Q1：セグメント別業績



単位：億円		22年3月期 Q1実績	23年3月期 Q1実績	前年比
映像事業	売上収益	500	<b>612</b>	+22.4%
	営業利益	92	<b>136</b>	+44億円
精機事業	売上収益	518	<b>414</b>	▲20.1%
	営業利益	134	<b>40</b>	▲94億円
ヘルスケア事業	売上収益	158	<b>217</b>	+37.3%
	営業利益	4	<b>8</b>	+4億円
コンポーネント事業	売上収益	77	<b>129</b>	+67.5%
	営業利益	21	<b>54</b>	+33億円
産業機器・その他	売上収益	67	<b>81</b>	+20.9%
	営業利益	▲10	<b>6</b>	+16億円
各セグメントに配賦 されない全社損益	営業利益	▲43	<b>▲92</b>	▲49億円
連結	売上収益	1,322	<b>1,456</b>	+10.1%
	営業利益	199	<b>153</b>	▲46億円

各セグメントに配賦されない全社損益の減少は、前年の土地売却益の剥落・セグメント間取引消去額の変動が主因

注：2023年3月期より「次世代プロジェクト本部」は、「精機事業」から「各セグメントに配賦されない全社損益」に移管、2022年3月期へ遡及適用

# 2023年3月期 Q1：映像事業



単位：億円	22年3月期 Q1実績	23年3月期 Q1実績	前年比
売上収益	500	<b>612</b>	+112
営業利益	92	<b>136</b>	+44
営業利益率	18.6%	22.2%	
レンズ交換式 デジタルカメラ	22万台	<b>20万台</b>	▲2万台
交換レンズ	39万本	<b>34万本</b>	▲5万本
レンズ一体型 デジタルカメラ	7万台	<b>4万台</b>	▲3万台

## Q1前年比： 増収・増益

- プロ・趣味層向け中高級機へのシフトによる平均販売単価の上昇、円安効果もあり増収増益

# 2023年3月期 Q1：精機事業



単位：億円	22年3月期 Q1実績	23年3月期 Q1実績	前年比
売上収益	518	414	▲104
営業利益 営業利益率	134 26.0%	40 9.7%	▲94
FPD露光装置	13台	7台	▲6台
半導体露光装置 新品／中古	0/1台	4/4台	+4/+3台

## Q1前年比：減収・減益

- 半導体露光装置の販売は増加したものの、大型パネル向けを中心とするFPD露光装置の減少を打ち返せず減収減益

注：2023年3月期より「次世代プロジェクト本部」は、「精機事業」から「各セグメントに配賦されない全社損益」に移管、2022年3月期へ遡及適用

# 2023年3月期 Q1：ヘルスケア事業



単位：億円	22年3月期 Q1実績	23年3月期 Q1実績	前年比
売上収益	158	217	+59
営業利益	4	8	+4
営業利益率	2.6%	4.1%	

## Q1前年比： 増収・増益

- 生物顕微鏡の販売が北米市場で伸長し、網膜画像診断機器も堅調で、円安効果もあり増収増益



# 2023年3月期 Q1：コンポーネント事業



単位：億円	22年3月期 Q1実績	23年3月期 Q1実績	前年比
売上収益	77	129	+52
営業利益	21	54	+33
営業利益率	27.3%	41.7%	

## Q1前年比：増収・増益

- 半導体関連製品向け光学部品・光学コンポーネント、EUV関連コンポーネント、FPDフォトマスク基板等の販売増により、増収増益

# 2023年3月期 Q1：産業機器・その他



単位：億円	22年3月期 Q1実績	23年3月期 Q1実績	前年比
売上収益	67	81	+14
営業利益	▲10	6	+16
営業利益率	▲15.1%	7.8%	

## Q1前年比：増収・増益

- 産業機器事業では、半導体及び電子部品向けのCNC画像測定システム等の測定機の販売が増加し増収
- 「その他」に含まれる生産子会社の稼働率が改善し、営業利益も改善

1. 2023年3月期 第1四半期決算報告

2. 2023年3月期 通期見通し

## 2023年3月期 上期見通し

- **売上収益： 2,750億円**（前回予想から200億円下方修正）
- **営業利益： 230億円**（前回予想据え置き）
- **当期利益： 170億円**（前回予想据え置き）  
（親会社の所有者に帰属）
  - 映像事業：Q1実績を踏まえ、売上収益50億円、営業利益50億円それぞれ上方修正
  - 精機事業：FPD・半導体露光装置の一部の据付完了が下期にずれ込むため、売上収益250億円、営業利益50億円をそれぞれ下期へシフト

## 2023年3月期 通期見通し

- **全社見通しは、映像事業の上期見通しの上方修正を反映**
- **売上収益： 6,250億円**（前回予想から50億円上方修正）
- **営業利益： 550億円**（前回予想から50億円上方修正）
- **当期利益： 420億円**（前回予想から40億円上方修正）  
（親会社の所有者に帰属）
- **為替レート： USドル 122円、ユーロ 132円**（2Q以降は前回予想据え置き）
- **配当予想： 年間配当40円、中間配当金20円**（前回予想据え置き）

# 2023年3月期 通期見通し：財務ハイライト



単位：億円	22年3月期 実績	前回予想 (5/12)	今回予想 (8/4)	前年 実績比	前回 予想比
売上収益	5,396	6,200	<b>6,250</b>	+854	+50
営業利益	499	500	<b>550</b>	+51	+50
営業利益率	9.3%	8.1%	<b>8.8%</b>		
税引前利益	570	520	<b>570</b>	±0	+50
税引前利益率	10.6%	8.4%	<b>9.1%</b>		
当期利益 (親会社の所有者に帰属)	426	380	<b>420</b>	▲6	+40
当期利益率	7.9%	6.1%	<b>6.7%</b>		
EPS	116.23円	103.47円	<b>114.78円</b>	▲1.45円	+11.31円
年間配当	40円	40円	<b>40円</b>	±0円	±0円
為替：USドル	112円	120円	<b>122円</b>	売上収益への予想影響	
				+217	+56
ユーロ	131円	130円	<b>132円</b>	営業利益への予想影響	
				+47	+14

注：EPS（基本的1株当たり当期利益）＝当期利益÷期中平均株式数（2022年3月期実績は約3.67億株で計算、2023年3月期末見通しは約3.66億株で計算）

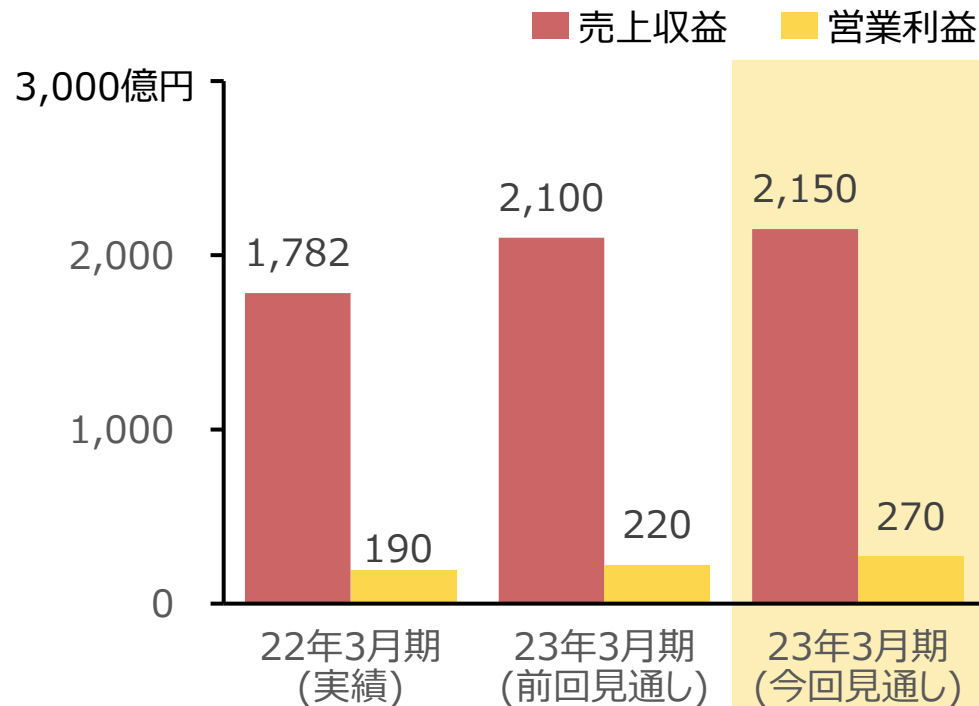
# 2023年3月期 通期見通し：セグメント別見通し



単位：億円		22年3月期実績	前回予想 (5/12)	今回予想 (8/4)	前年実績比	前回予想比
映像事業	売上収益	1,782	2,100	<b>2,150</b>	+368	+50
	営業利益	190	220	<b>270</b>	+80	+50
精機事業	売上収益	2,112	2,400	<b>2,400</b>	+288	±0
	営業利益	394	350	<b>350</b>	▲44	±0
ヘルスケア事業	売上収益	732	800	<b>800</b>	+68	±0
	営業利益	43	60	<b>60</b>	+17	±0
コンポーネント事業	売上収益	408	530	<b>530</b>	+122	±0
	営業利益	127	170	<b>170</b>	+43	±0
産業機器・その他	売上収益	360	370	<b>370</b>	+10	±0
	営業利益	29	40	<b>40</b>	+11	±0
各セグメントに配賦 されない全社損益	営業利益	▲286	▲340	<b>▲340</b>	▲54	±0
連結	売上収益	5,396	6,200	<b>6,250</b>	+854	+50
	営業利益	499	500	<b>550</b>	+51	+50

注：2023年3月期より「次世代プロジェクト本部」は、「精機事業」から「各セグメントに配賦されない全社損益」に移管、2022年3月期へ遡及適用

# 2023年3月期 通期見通し：映像事業



レンズ交換式デジタルカメラ (万台)			
市場規模	512	510	510
ニコン	70	70	70
交換レンズ (万本)			
市場規模	939	940	940
ニコン	127	125	125
レンズ一体型デジタルカメラ (万台)			
市場規模	272	220	220
ニコン	19	10	10

## ● 売上収益：前年比 368億円増収（前回比50億円増収）

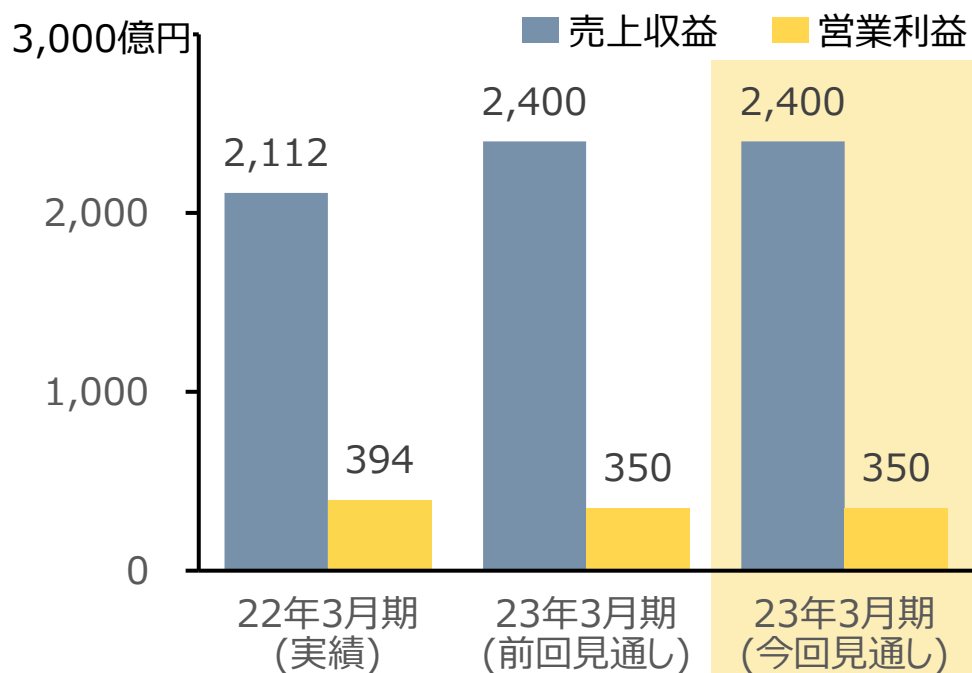
- 市場台数及び当社の販売台数は、前回予想から据え置く
- プロ・趣味層をターゲットとした中高級機カメラへのシフトは順調に推移、ミラーレスカメラ・交換レンズを中心に売上拡大し、前年比増収を見込む
- Q1実績を反映し、通期予想を前回予想比50億円増収の2,150億円に引き上げ
- 部品調達制約は継続しており、対応に注力

## ● 営業利益：前年比 80億円増益（前回比50億円増益）

- 中高級機カメラの販売増、平均販売単価の向上に加え、円安効果により、前年比増益を見込む
- 製品競争力の向上を図るため、開発費用等の経費増加を見込む
- Q1実績を反映し、通期予想を前回予想比50億円増益の270億円に引き上げ

注：レンズ一体型デジタルカメラは、ボディとレンズが一体となり、レンズ交換不可のカメラを指す（ニコンの該当機種：COOLPIX P1000, P950等）

# 2023年3月期 通期見通し：精機事業



FPD露光装置販売台数 (台)			
市場規模 (CY21/22)	116	95	95
ニコン	46	31	31
半導体露光装置販売台数 (新品/中古、台)			
市場規模 (CY21/22)	390	460	460
ニコン	17/18	39/22	39/22

## ● 売上収益：前年比288億円増収 (前回予想据え置き)

- FPD露光装置は、露光装置の台数減の影響を受け、大きく減収
- 半導体露光装置は、顧客の堅調な需要から、ArF露光装置を中心とした新品装置の販売台数が増加し増収
- サービスビジネスは堅調に推移するも、一過性の案件を含む前年からは減収
- 前回予想比では、FPD・半導体露光装置共に、顧客都合により、一部装置の据付完了が上期から下期に繰延

## ● 営業利益：前年比44億円減益 (前回予想据え置き)

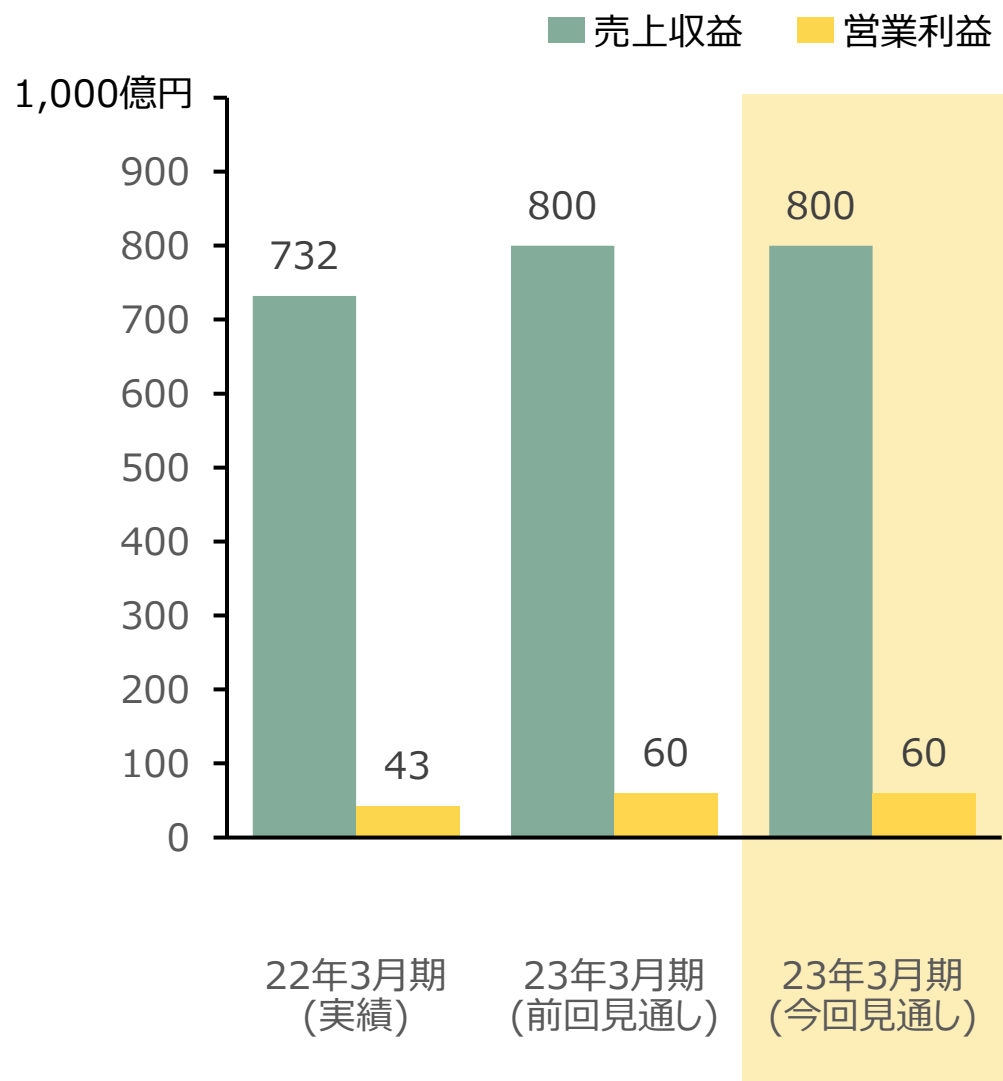
- 半導体露光装置は、サービスビジネスの減益を新品・中古号機の販売台数増により補い、増益
- FPD露光装置の販売台数減による減益の影響が大きく、精機事業全体では期初想定どおり、前年比減益を見込む

注：2023年3月期より「次世代プロジェクト本部」は、「精機事業」から「各セグメントに配賦されない全社損益」に移管、2022年3月期へ遡及適用

注：2023年3月期より、半導体露光装置の市場全体及びニコン販売分の双方に、i線を含む非微細化領域の露光装置を含めて表記 (2022年3月期分についても新しい台数の計上基準で表示)



# 2023年3月期 通期見通し：ヘルスケア事業



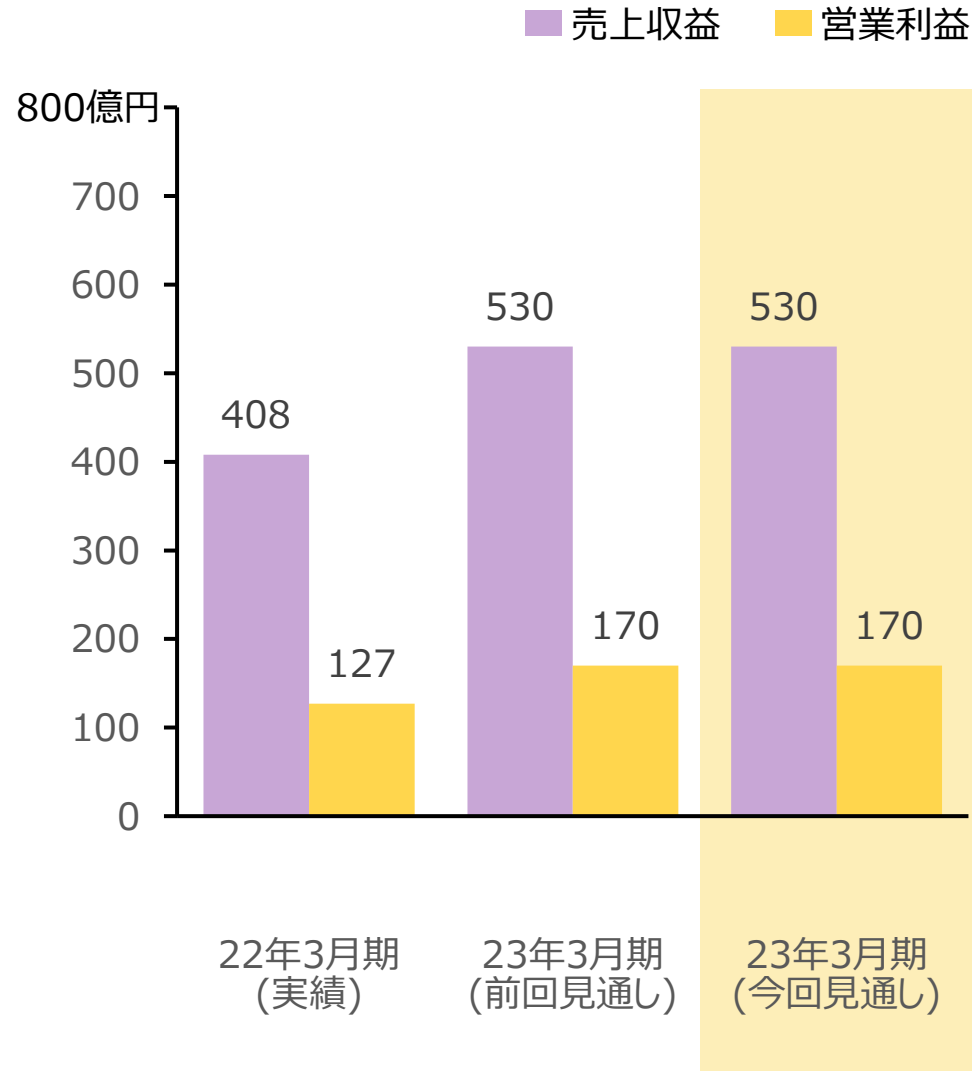
## ● 売上収益：前年比68億円増収（前回予想据え置き）

- 今期も過去最高の売上を更新する見込み
- 生物顕微鏡は、北米を中心に新製品の拡販および民間市場の開拓による増収を見込む
- 網膜画像診断機器は北米のほか、欧州・アジアでの売上増加を目指す
- 生物顕微鏡、網膜画像診断機器共に半導体部品・物流の逼迫は継続しており、安定供給に努める

## ● 営業利益：前年比17億円増益（前回予想据え置き）

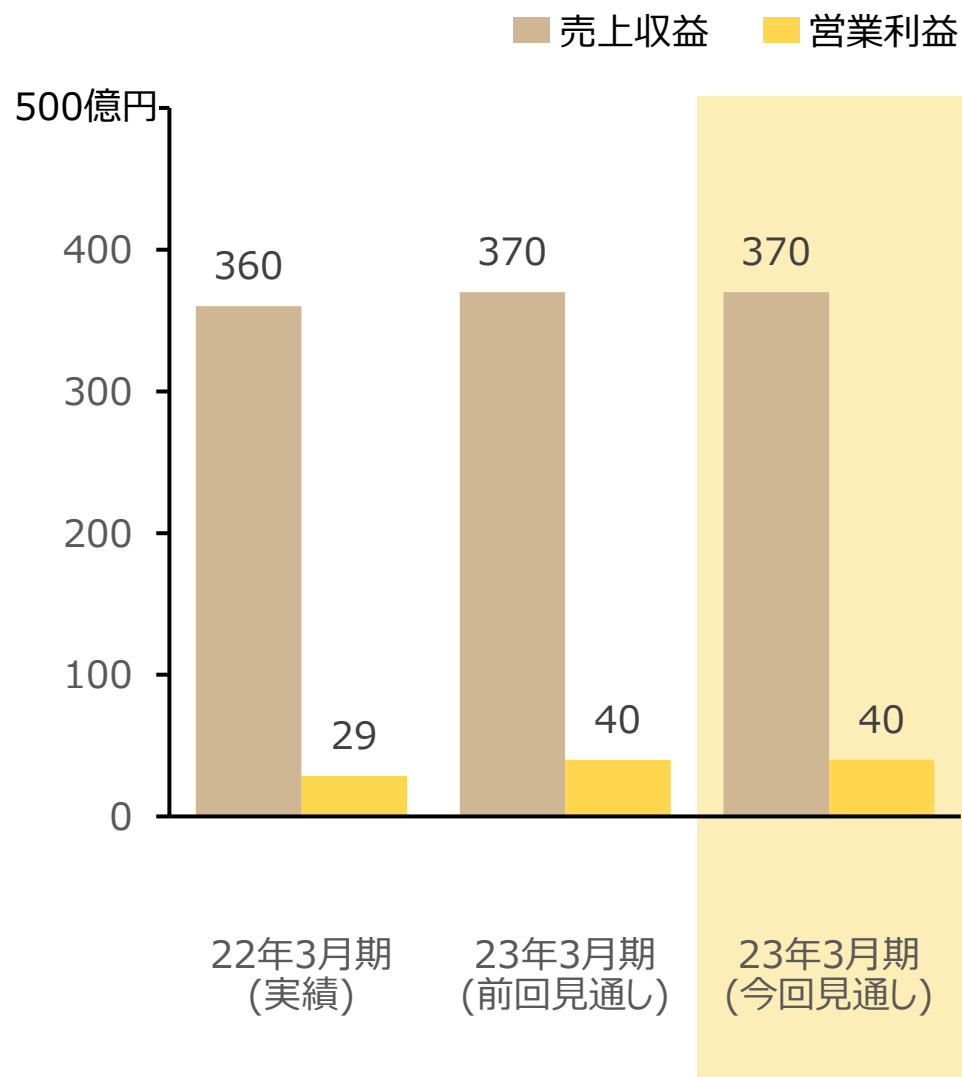
- 生物顕微鏡の増収効果等により増益

# 2023年3月期 通期見通し：コンポーネント事業



- **売上収益：前年比122億円増収**（前回予想据え置き）
  - EUV関連コンポーネント、半導体関連製品の光学部品、光学コンポーネント品やFPDフォトマスク基板等が売上拡大に寄与
  
- **営業利益：前年比43億円増益**（前回予想据え置き）
  - 増収効果により増益

# 2023年3月期 通期見通し：産業機器・その他



## ● 売上収益：前年比10億円増収（前回予想据え置き）

- 産業機器事業では、CNC画像測定システムの堅調な販売に加え、X線検査装置等の売上拡大を見込む

## ● 営業利益：前年比11億円増益（前回予想据え置き）

- 「その他」に含まれる国内生産子会社の稼働率向上により増益
- 産業機器事業では、新製品の研究開発や販売体制強化のため、費用増加を見込む

# 参考資料

# ニコンの事業セグメントと主な製品

事業セグメント	主な事業、製品	製品例			
映像事業	レンズ交換式デジタルカメラ 交換レンズ レンズ一体型デジタルカメラ	 ミラーレスカメラ「Z 9」	 ミラーレスカメラ「Z 30」	 「NIKKOR」レンズ	 「NIKKOR Z 400mm f/4.5 VR S」
精機事業	FPD露光装置 半導体露光装置 アライメントステーション 計測・検査装置	 FPDスキャナー「FX-88S」	 ArF液浸スキャナー「NSR-S635E」	 アライメントステーション「Litho Booster」	 自動マクロ検査装置「AMI-5700」
ヘルスケア事業	生物顕微鏡 網膜画像診断機器 細胞受託生産	 共焦点レーザー顕微鏡システム「AX/AX R」	 SS-OCT付き超広角走査型レーザー検眼鏡「Silverstone」	 細胞受託生産	
コンポーネント事業	EUV関連コンポーネント 光学部品、光学コンポーネント エンコーダ・アクチュエータ FPDフォトマスク基板 光加工機・材料加工受託	 光学コンポーネント	 インテリジェントアクチュエータユニット「C3 eMotion」	 FPDフォトマスク基板	 光加工機「Lasermeister 102A」
産業機器・その他	測定機 X線検査装置 工業用顕微鏡	 CNC画像測定システム「NEXIV VMZ-S」シリーズ	 X線CT検査装置「XT H 225 ST 2x」	 レーザーレーダー「APDIS」シリーズ	

# (ご参考) コンポーネント事業について

2022年4月発表  
『中期経営計画(2022~2025年度)』および  
5月開催『Nikon IR Day 2022』資料より

## ありたい姿

顧客のイノベーションを支えながら、顧客とともに成長

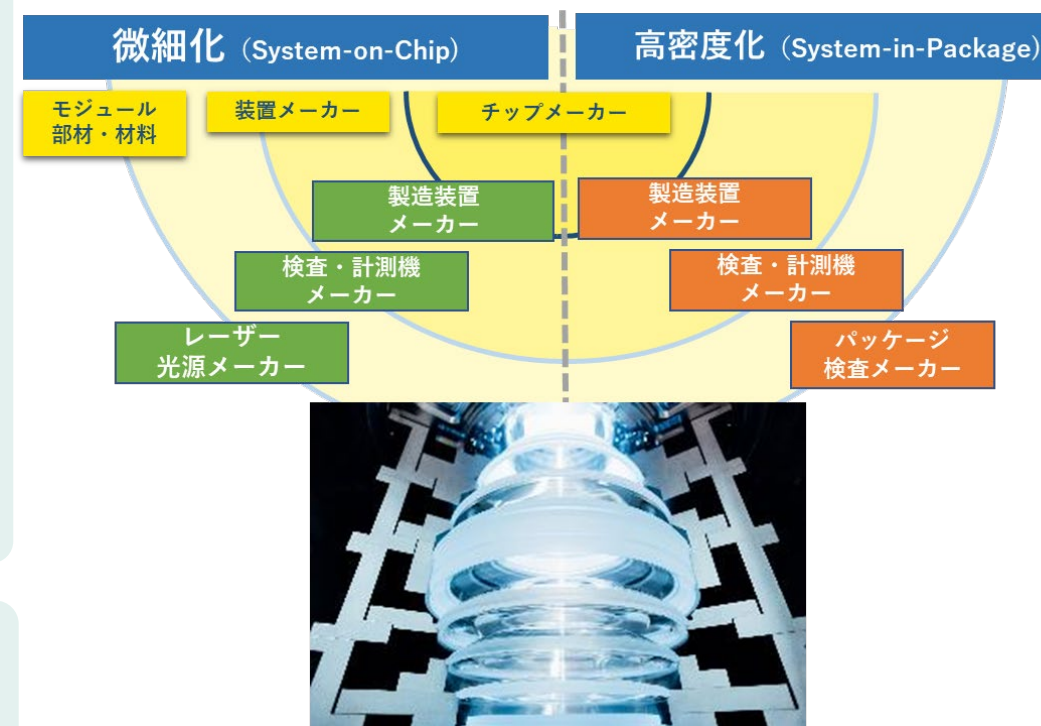
## 運営方針

- ✓ **光学コンポーネント(成長ドライバー)**  
・高耐久・高性能・安定供給ニーズにタイムリーに対応
- ✓ **EUV関連コンポーネント(成長ドライバー)**  
・生産能力増強、高NA（開口数）対応で事業拡大
- ✓ **エンコーダ**  
・人と協働するロボット向けモジュールに注力
- ✓ **ガラス**  
・高精度研磨・高品質成膜の大型FPDマスク基板に集中

## 収益計画

売上収益倍増により、営業利益200億円以上へ

## 光学コンポーネントで半導体の微細化（EUV）及び高密度化（最先端IC基板）に貢献



# 2023年3月期 通期見通し：財務ハイライト



単位：億円	20年3月期	21年3月期	22年3月期			23年3月期		
	通期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上収益	5,910	4,512	2,730	2,666	5,396	2,750	3,500	6,250
営業利益	67	▲562	321	178	499	230	320	550
営業利益率	1.1%	▲12.5%	11.8%	6.7%	9.3%	8.4%	9.1%	8.8%
税引前利益	118	▲453	359	211	570	240	330	570
税引前利益率	2.0%	▲10.0%	13.2%	7.9%	10.6%	8.7%	9.4%	9.1%
当期利益	76	▲344	264	162	426	170	250	420
(親会社の所有者に帰属) 当期利益率	1.3%	▲7.6%	9.7%	6.1%	7.9%	6.2%	7.1%	6.7%
EPS	19.93円	▲93.96円	116.23円			114.78円		
年間配当	40円	20円	40円			40円		
ROE	1.3%	▲6.4%	7.5%			6.9%		
FCF	▲48	229	309			-		
為替：USドル	109円	106円	110円	115円	112円	125円	120円	122円
ユーロ	121円	124円	131円	130円	131円	134円	130円	132円

# 2023年3月期 通期見通し：財務ハイライト（前回予想との差異）



単位：億円	前回予想（5/12）			今回予想（8/4）			前回予想比		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上収益	2,950	3,250	6,200	<b>2,750</b>	<b>3,500</b>	<b>6,250</b>	▲200	+250	+50
営業利益	230	270	500	<b>230</b>	<b>320</b>	<b>550</b>	±0	+50	+50
営業利益率	7.8%	8.3%	8.1%	<b>8.4%</b>	<b>9.1%</b>	<b>8.8%</b>			
税引前利益	240	280	520	<b>240</b>	<b>330</b>	<b>570</b>	±0	+50	+50
税引前利益率	8.1%	8.6%	8.4%	<b>8.7%</b>	<b>9.4%</b>	<b>9.1%</b>			
当期利益 <small>（親会社の所有者に帰属）</small>	170	210	380	<b>170</b>	<b>250</b>	<b>420</b>	±0	+40	+40
当期利益率	5.8%	6.5%	6.1%	<b>6.2%</b>	<b>7.1%</b>	<b>6.7%</b>			
EPS	103.47円			<b>114.78円</b>			+11.31円		
年間配当	40円			<b>40円</b>			±0円		
ROE	6.5%			<b>6.9%</b>			+0.4P		
FCF	-			-			-		
為替：USドル	120円	120円	120円	<b>125円</b>	<b>120円</b>	<b>122円</b>	+5円	±0円	+2円
ユーロ	130円	130円	130円	<b>134円</b>	<b>130円</b>	<b>132円</b>	+4円	±0円	+2円



# 2023年3月期 通期見通し：セグメント別見通し



単位：億円		22年3月期			23年3月期		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期
映像事業	売上収益	892	890	1,782	1,050	1,100	2,150
	営業利益	125	65	190	180	90	270
精機事業	売上収益	1,192	920	2,112	900	1,500	2,400
	営業利益	275	119	394	80	270	350
ヘルスケア事業	売上収益	330	402	732	380	420	800
	営業利益	9	34	43	30	30	60
コンポーネント事業	売上収益	167	241	408	260	270	530
	営業利益	34	93	127	80	90	170
産業機器・その他	売上収益	146	214	360	160	210	370
	営業利益	▲16	45	29	10	30	40
各セグメントに 配賦されない全社損益	営業利益	▲107	▲179	▲286	▲150	▲190	▲340
	内、成長投資関連費用	▲104	▲114	▲218	▲100	▲120	▲220
	内、本社管理部門費用	▲22	▲58	▲80	▲60	▲70	▲130
連結	売上収益	2,730	2,666	5,396	2,750	3,500	6,250
	営業利益	321	178	499	230	320	550

注：2023年3月期より「次世代プロジェクト本部」は、「精機事業」から「各セグメントに配賦されない全社損益（成長投資関連費用）」に移管、2022年3月期へ遡及適用

注：「成長投資関連費用」は、主に基礎研究に係る費用、新規事業創設に係る費用、ものづくり革新に関連する費用。「本社管理部門費用」は、本社機能の一般管理費、各セグメントに配賦されないその他営業損益

注：「各セグメントに配賦されない全社損益」は「セグメント間取引消去」を含む

# 2023年3月期 通期見通し：セグメント別見通し（前回予想との差異）



単位：億円		前回予想（5/12）			今回予想（8/4）			前回予想比		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
映像事業	売上収益	1,000	1,100	2,100	<b>1,050</b>	<b>1,100</b>	<b>2,150</b>	+50	±0	+50
	営業利益	130	90	220	<b>180</b>	<b>90</b>	<b>270</b>	+50	±0	+50
精機事業	売上収益	1,150	1,250	2,400	<b>900</b>	<b>1,500</b>	<b>2,400</b>	▲250	+250	±0
	営業利益	130	220	350	<b>80</b>	<b>270</b>	<b>350</b>	▲50	+50	±0
ヘルスケア事業	売上収益	380	420	800	<b>380</b>	<b>420</b>	<b>800</b>	±0	±0	±0
	営業利益	30	30	60	<b>30</b>	<b>30</b>	<b>60</b>	±0	±0	±0
コンポーネント事業	売上収益	260	270	530	<b>260</b>	<b>270</b>	<b>530</b>	±0	±0	±0
	営業利益	80	90	170	<b>80</b>	<b>90</b>	<b>170</b>	±0	±0	±0
産業機器・その他	売上収益	160	210	370	<b>160</b>	<b>210</b>	<b>370</b>	±0	±0	±0
	営業利益	10	30	40	<b>10</b>	<b>30</b>	<b>40</b>	±0	±0	±0
各セグメントに 配賦されない全社損益	営業利益	▲150	▲190	▲340	<b>▲150</b>	<b>▲190</b>	<b>▲340</b>	±0	±0	±0
連結	売上収益	2,950	3,250	6,200	<b>2,750</b>	<b>3,500</b>	<b>6,250</b>	▲200	+250	+50
	営業利益	230	270	500	<b>230</b>	<b>320</b>	<b>550</b>	±0	+50	+50

# 2023年3月期 Q1：セグメント別四半期業績



単位：億円		22年3月期				23年3月期
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
映像事業	売上収益	500	392	468	422	<b>612</b>
	営業利益	92	33	63	2	<b>136</b>
精機事業	売上収益	518	674	437	483	<b>414</b>
	営業利益	134	141	59	60	<b>40</b>
ヘルスケア事業	売上収益	158	172	202	200	<b>217</b>
	営業利益	4	5	19	15	<b>8</b>
コンポーネント事業	売上収益	77	90	139	102	<b>129</b>
	営業利益	21	13	67	26	<b>54</b>
産業機器・その他	売上収益	67	79	89	125	<b>81</b>
	営業利益	▲10	▲6	17	28	<b>6</b>
各セグメントに 配賦されない全社損益	営業利益	▲43	▲64	▲76	▲103	<b>▲92</b>
	内、成長投資関連費用	▲50	▲54	▲53	▲61	<b>▲53</b>
	内、本社管理部門費用	1	▲23	▲27	▲31	<b>▲27</b>
連結	売上収益	1,322	1,408	1,333	1,333	<b>1,456</b>
	営業利益	199	122	148	30	<b>153</b>

注：2023年3月期より「次世代プロジェクト本部」は、「精機事業」から「各セグメントに配賦されない全社損益（成長投資関連費用）」に移管、2022年3月期へ遡及適用

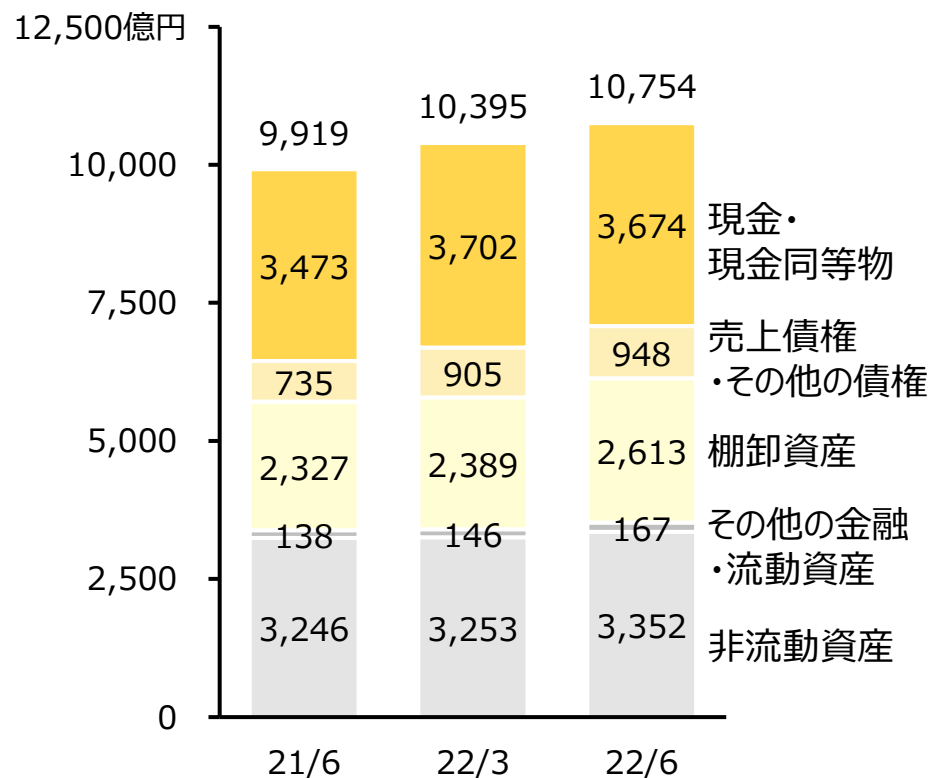
注：「成長投資関連費用」は、主に基礎研究に係る費用、新規事業創設に係る費用、ものづくり革新に関連する費用。「本社管理部門費用」は、本社機能の一般管理費、各セグメントに配賦されないその他営業損益

注：「各セグメントに配賦されない全社損益」は「セグメント間取引消去」を含む

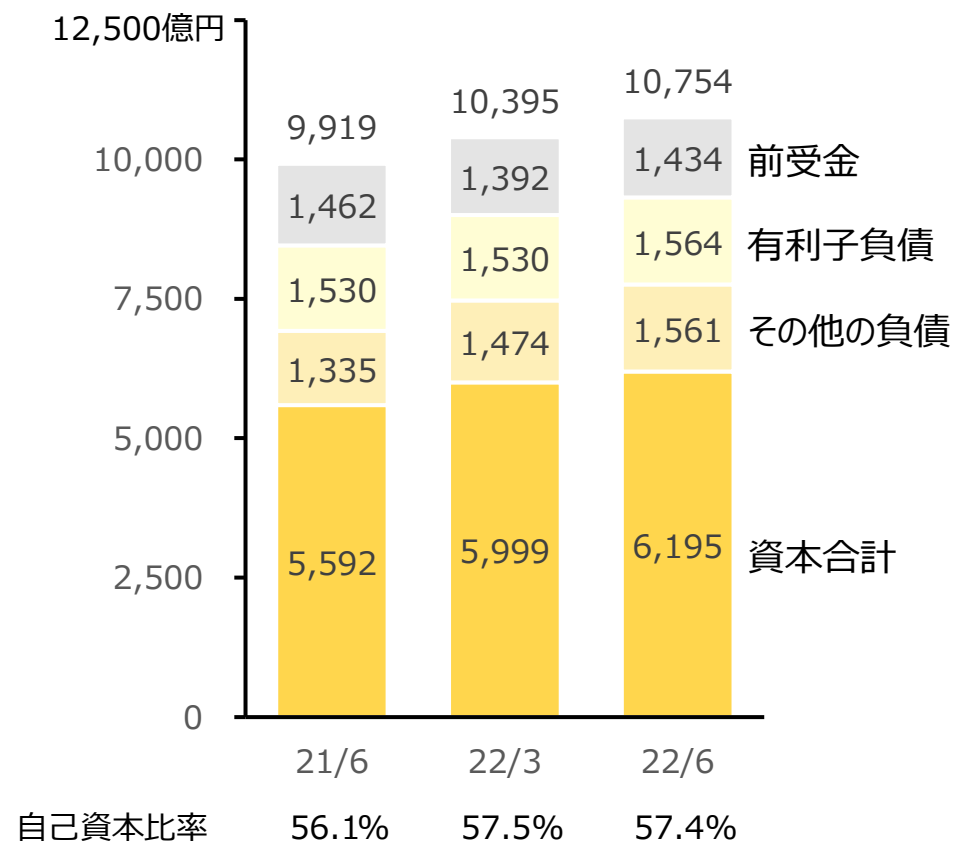
# 2023年3月期 Q1：財政状態計算書



## 資産

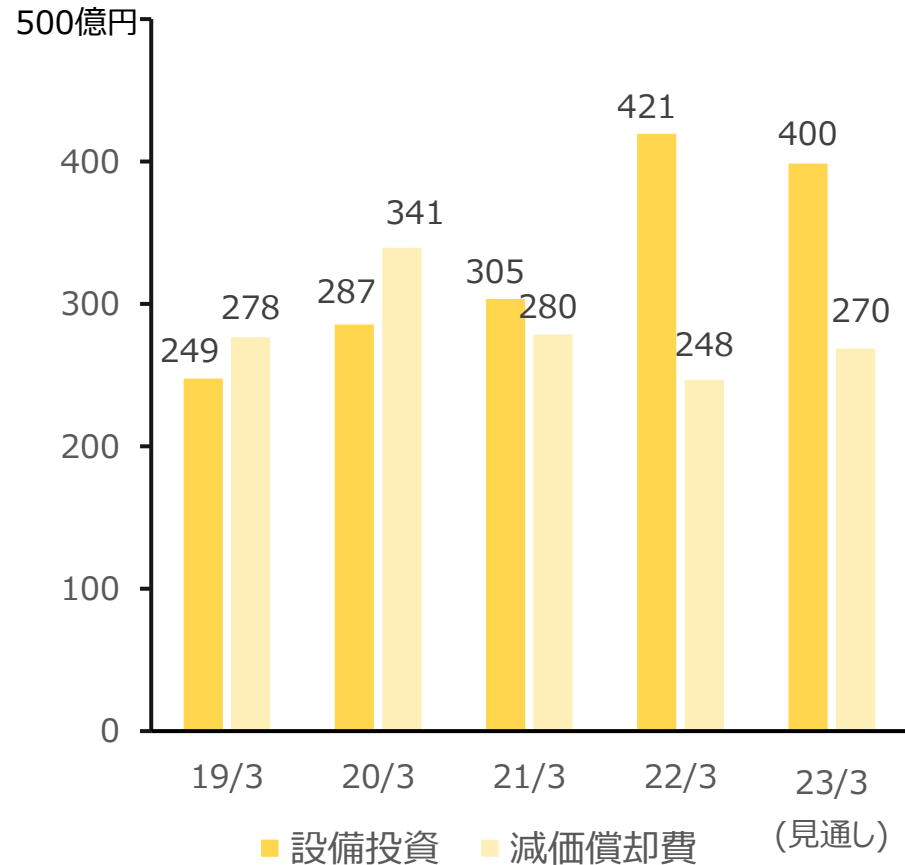


## 負債・資本

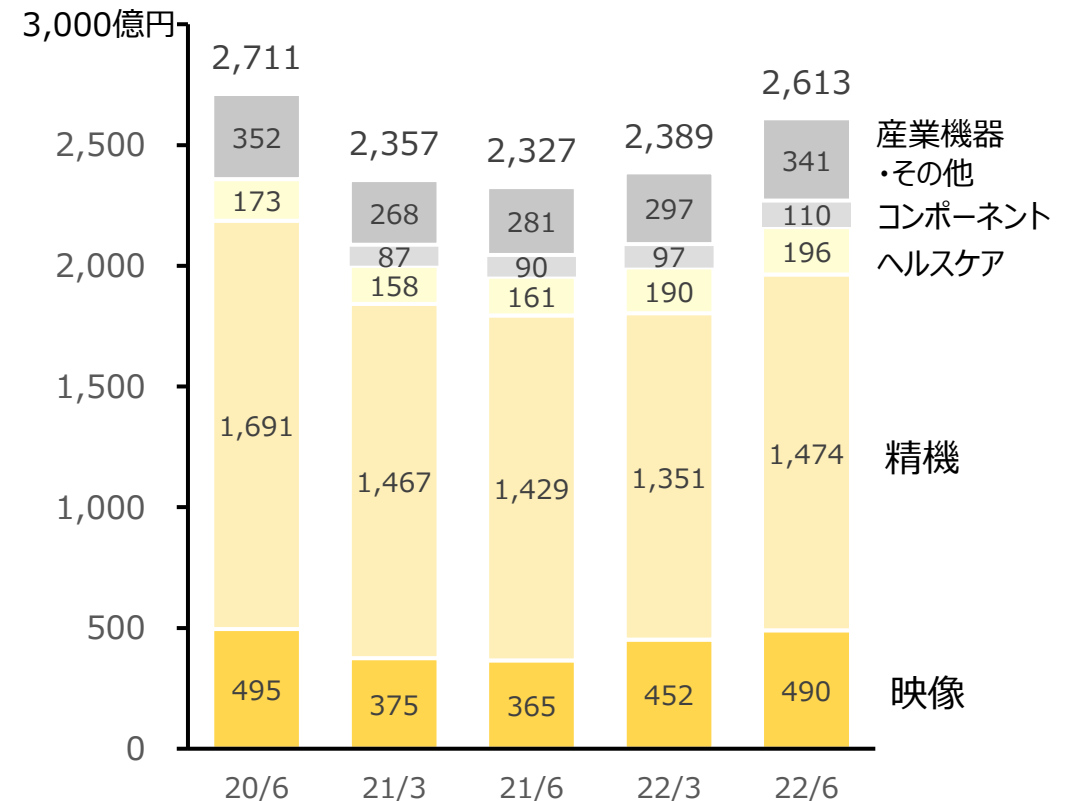


注：自己資本比率 = 親会社所有者帰属持分比率。現金・現金同等物には3ヶ月超の定期預金残高を含めず表示

## 設備投資・減価償却費



## 棚卸資産



注: 「設備投資」 2020年3月期以降はIFRS第16号適用により使用権資産を含めて表示

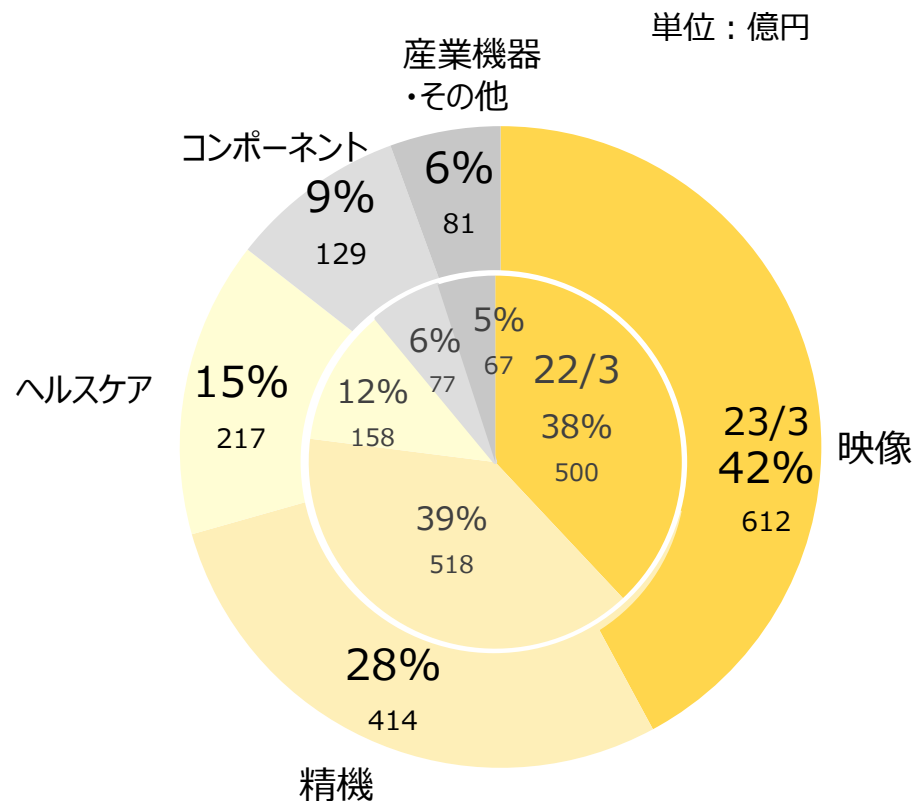
「減価償却費」 2018年3月期以降には仕掛開発費の償却も含めて表示、2020年3月期以降は設備投資と同様に使用権資産の償却も含めて表示

「棚卸資産」 産業機器・その他に属していた半導体関連製品事業を精機事業に移管し、2020年3月期への遡及適用した結果、2020年3月末で26億円の残高を組替

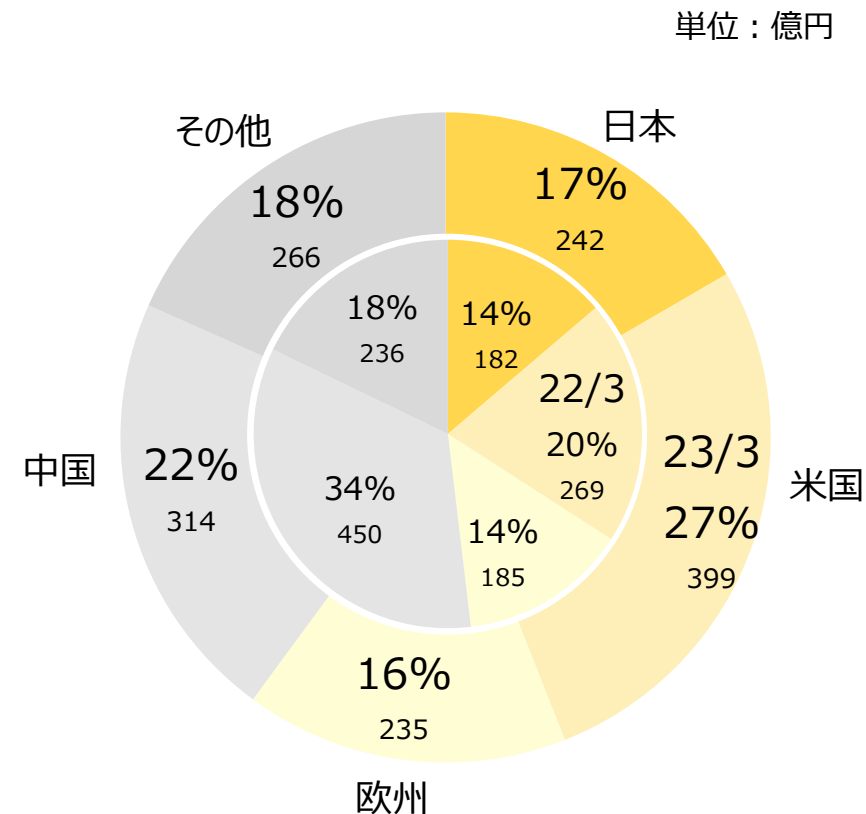
# 2023年3月期 Q1：売上収益内訳



## セグメント別内訳

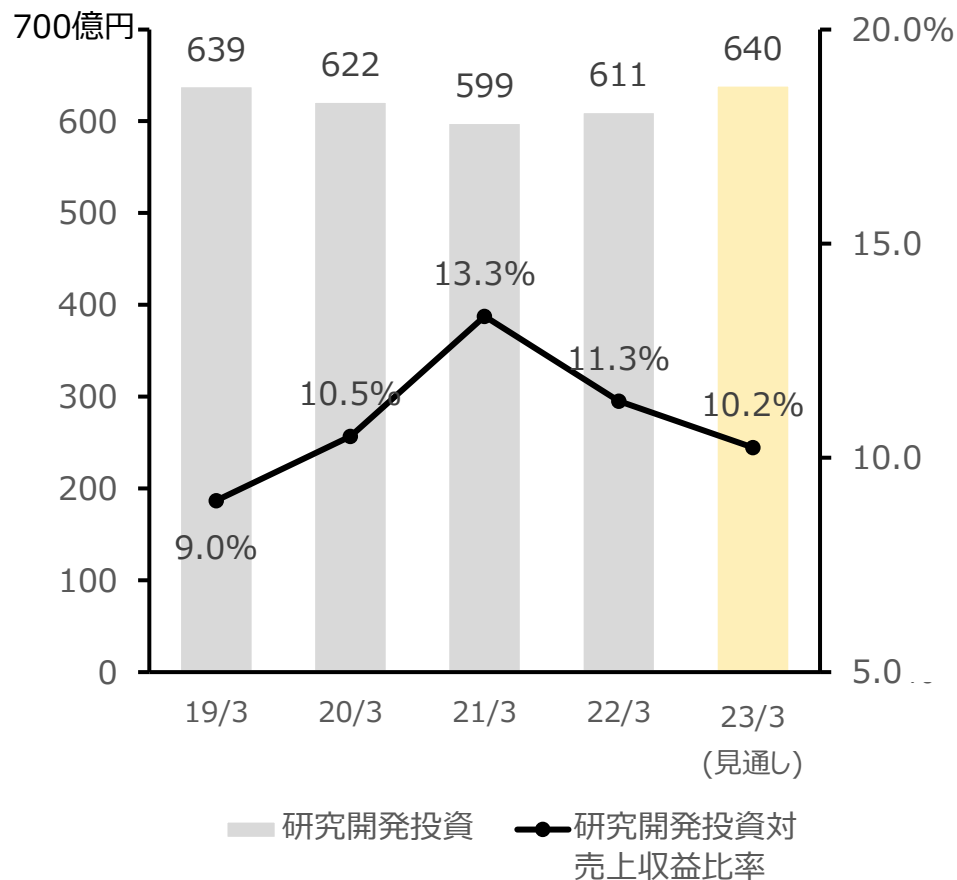


## 地域別内訳

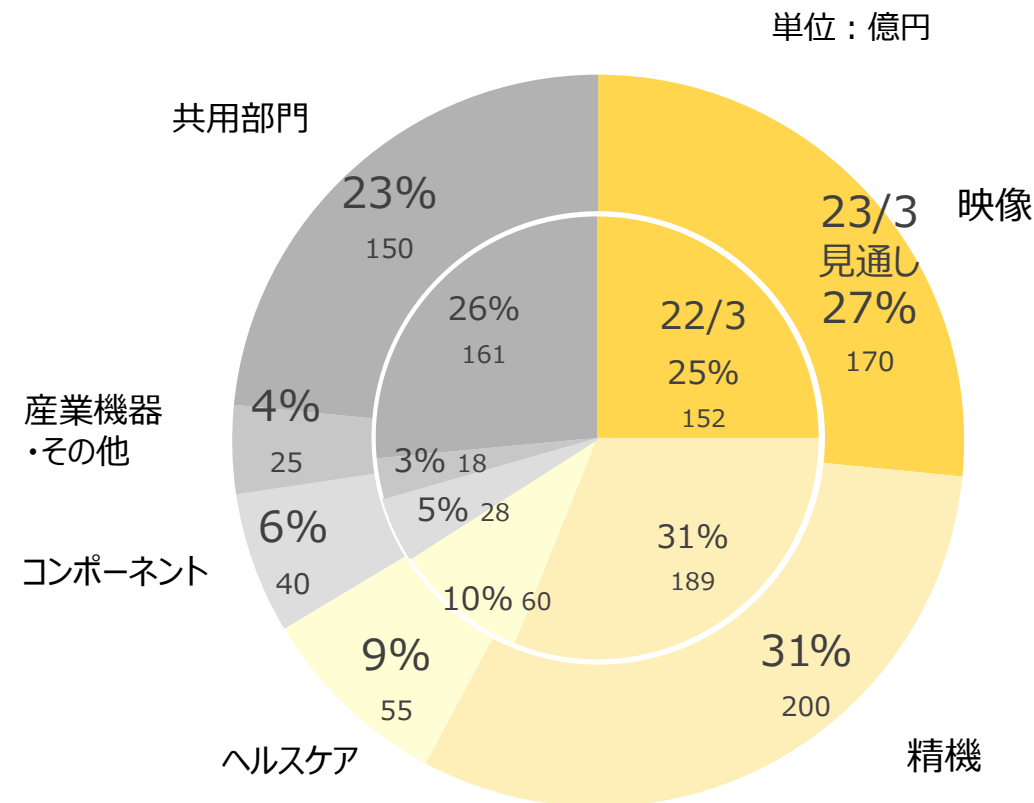


注：外円は「2023年3月期Q1売上収益1,456億円」の内訳、内円は「2022年3月期Q1売上収益1,322億円」の内訳を表示

## 研究開発投資



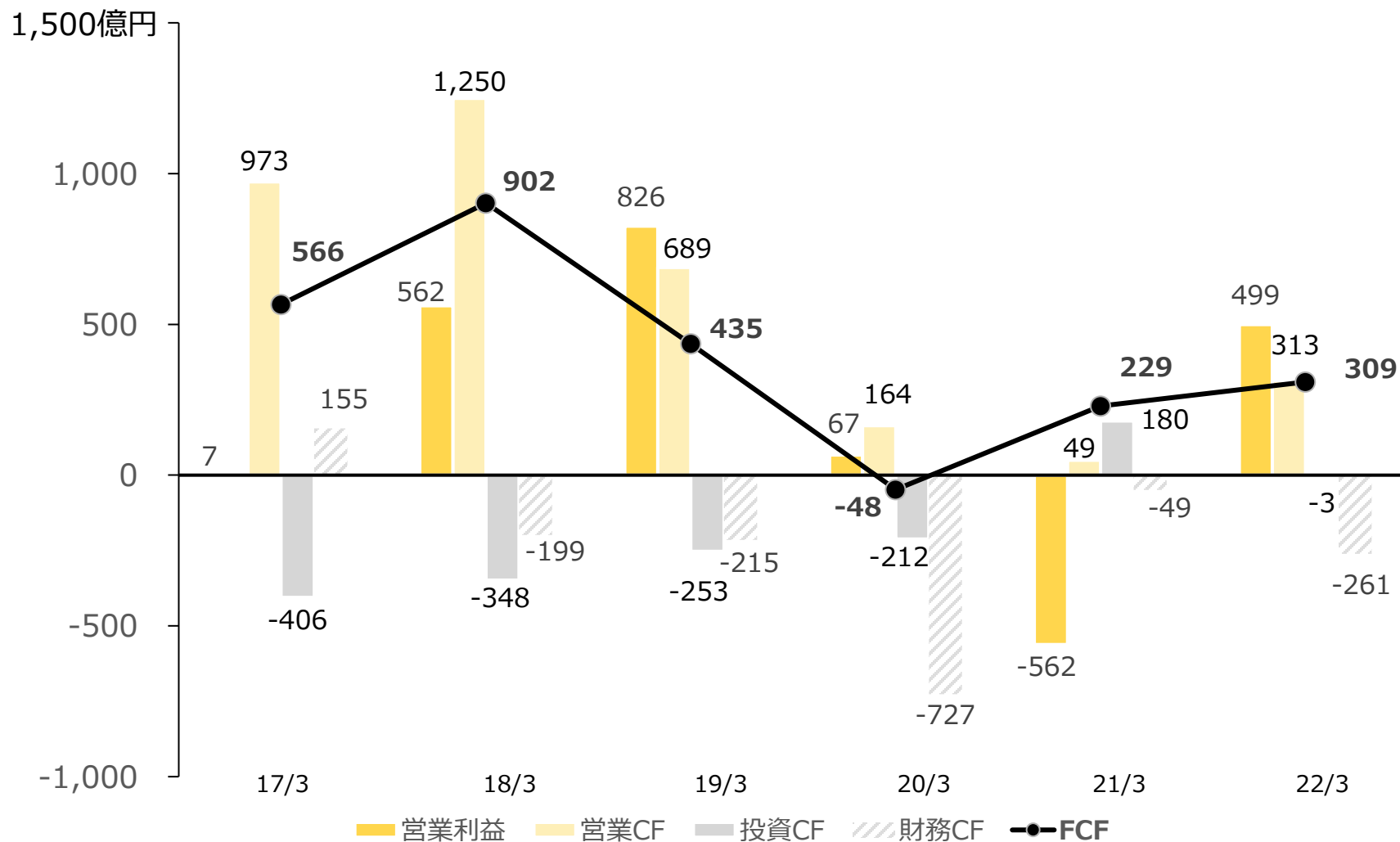
## 研究開発投資内訳



注：「研究開発投資」には、資産化された開発投資を含めて表示

注：「研究開発投資内訳」は、2023年3月期からのセグメント変更に伴い、2022年3月期の財務数値を変更後の表示に合わせ、組み替えて表示

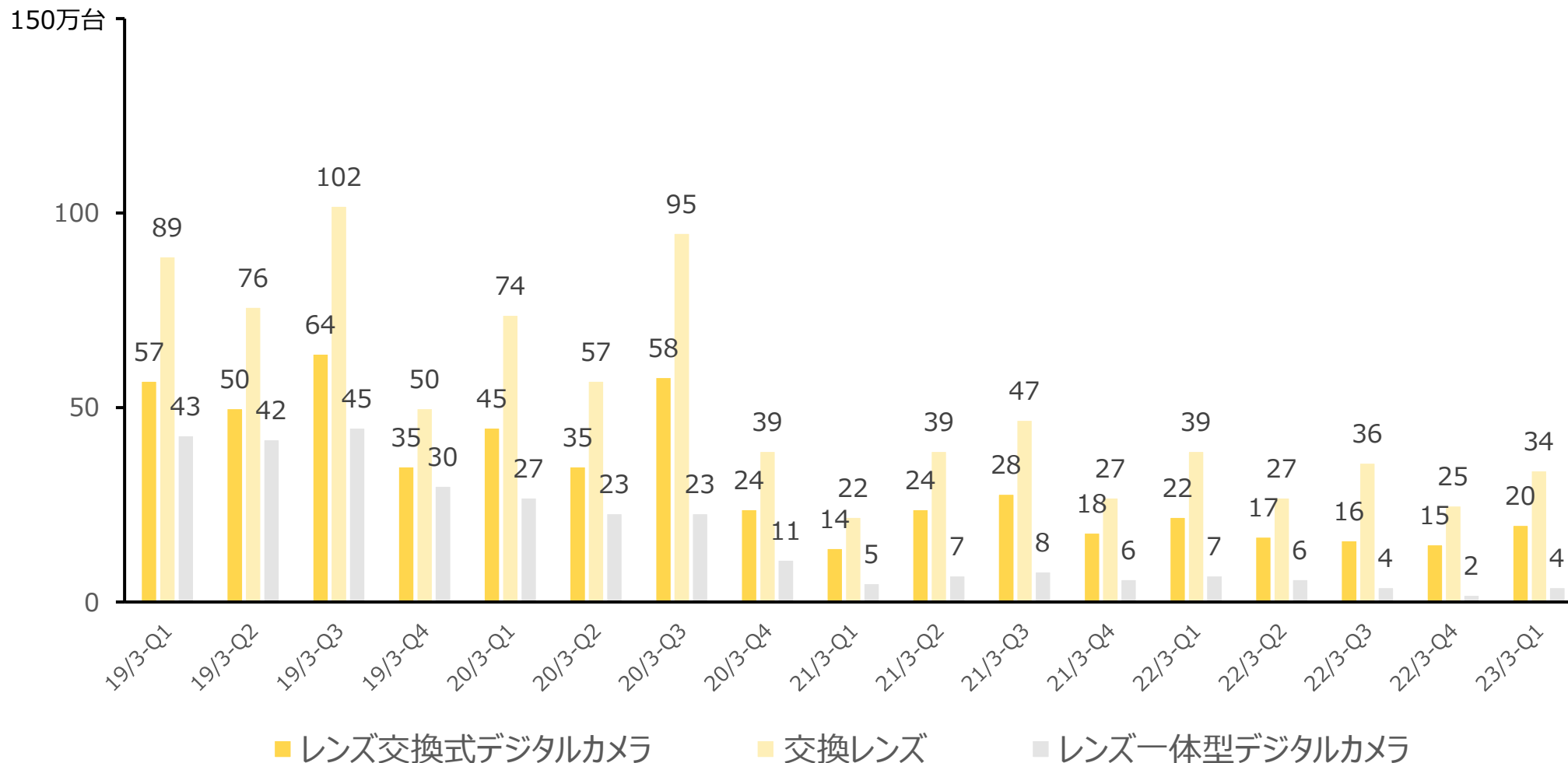
# キャッシュフロー推移



注: FCF + 財務CF + 現金・現金同等物に係る換算差額 = 現金・現預金同等物期末残高増減



## 製品カテゴリー別内訳

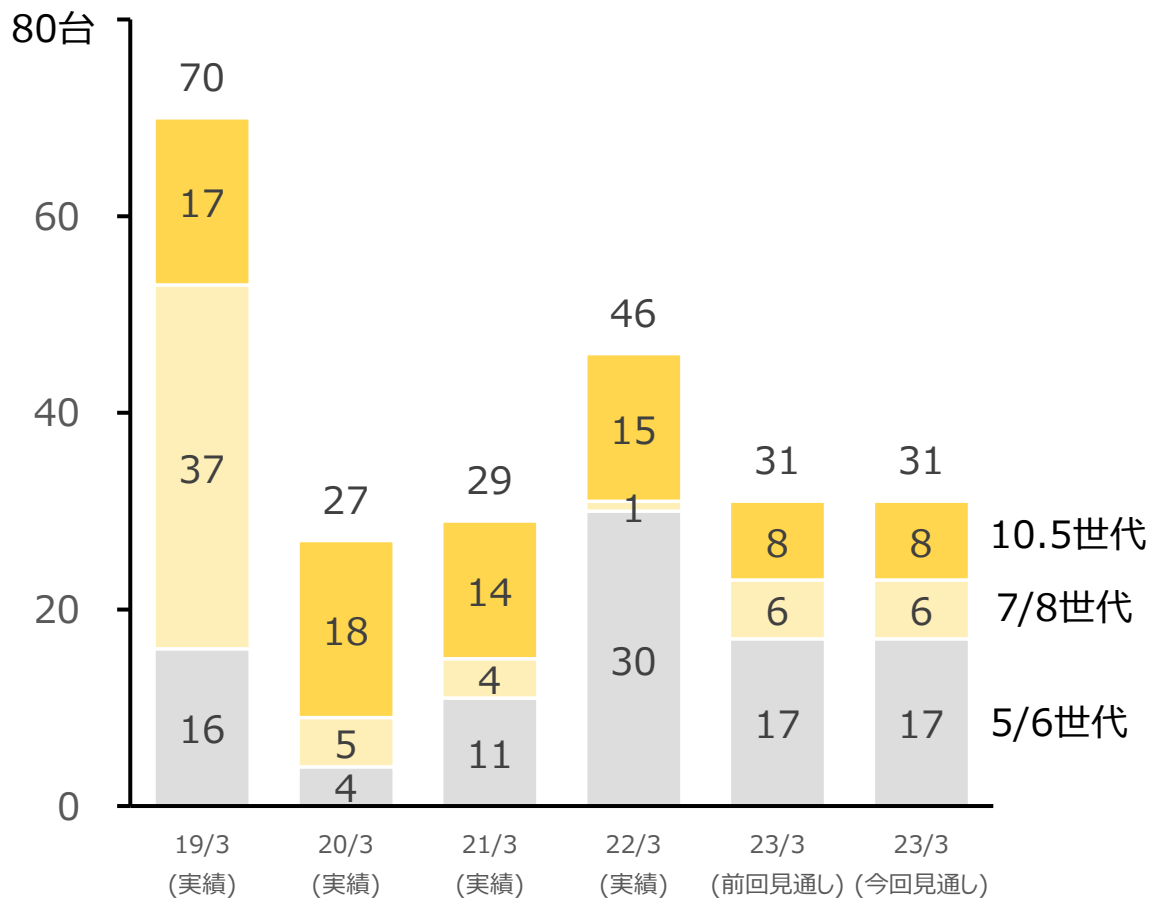


注: レンズ一体型デジタルカメラは、ボディとレンズが一体となり、レンズ交換不可のカメラを指す（ニコンの該当機種：COOLPIX P1000, P950等）

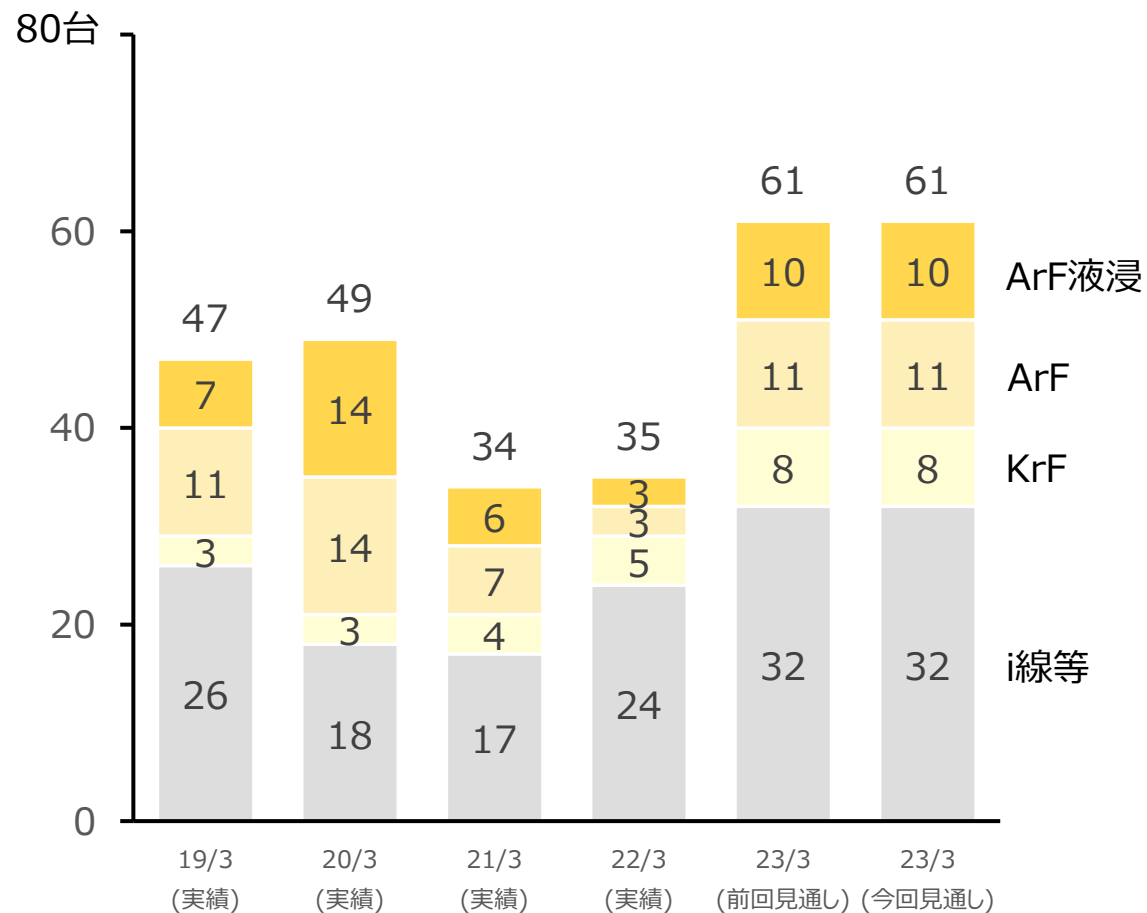
# 2023年3月期 通期見通し：精機事業 販売台数



## FPD露光装置世代別内訳

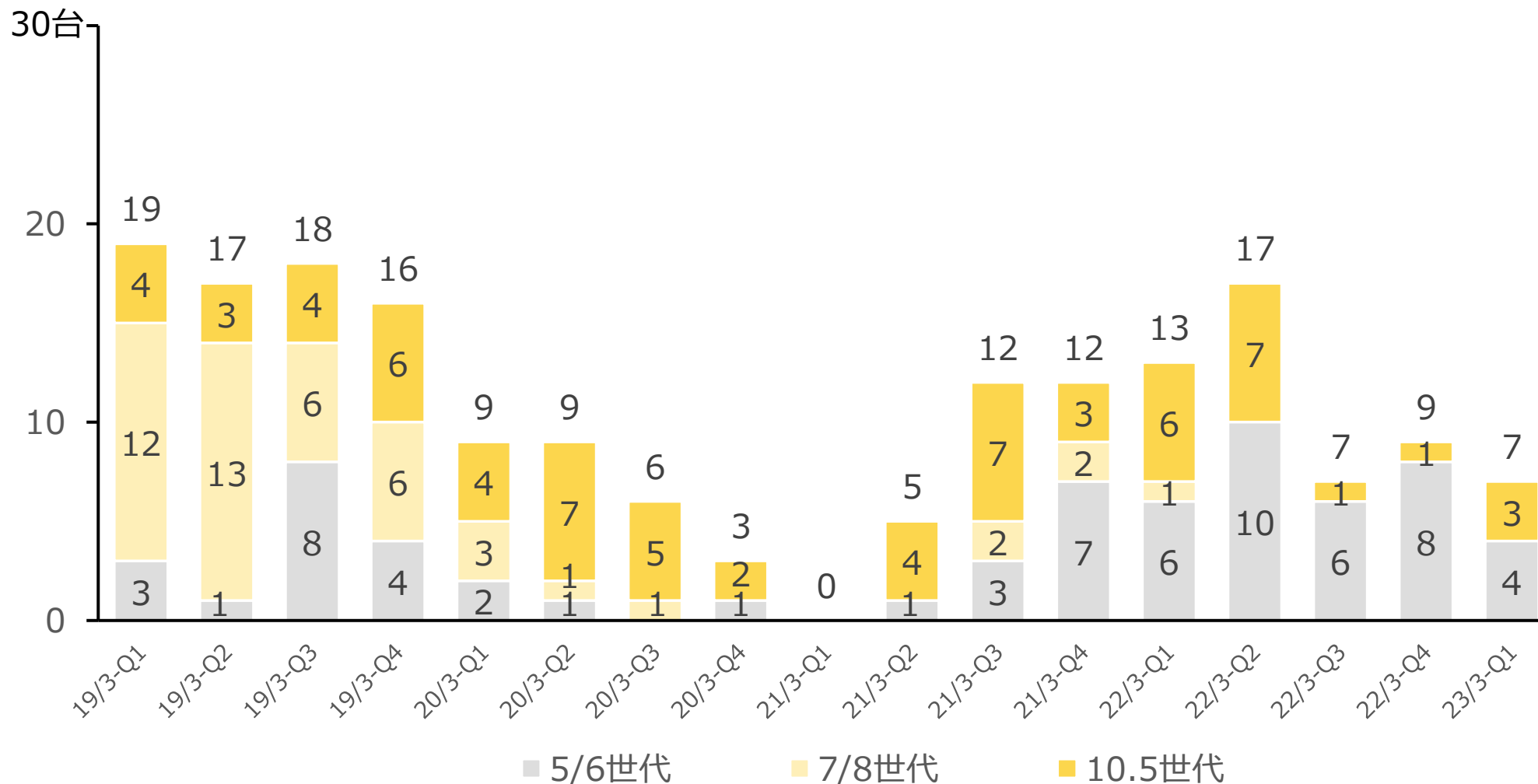


## 半導体露光装置光源別内訳 (中古含む)

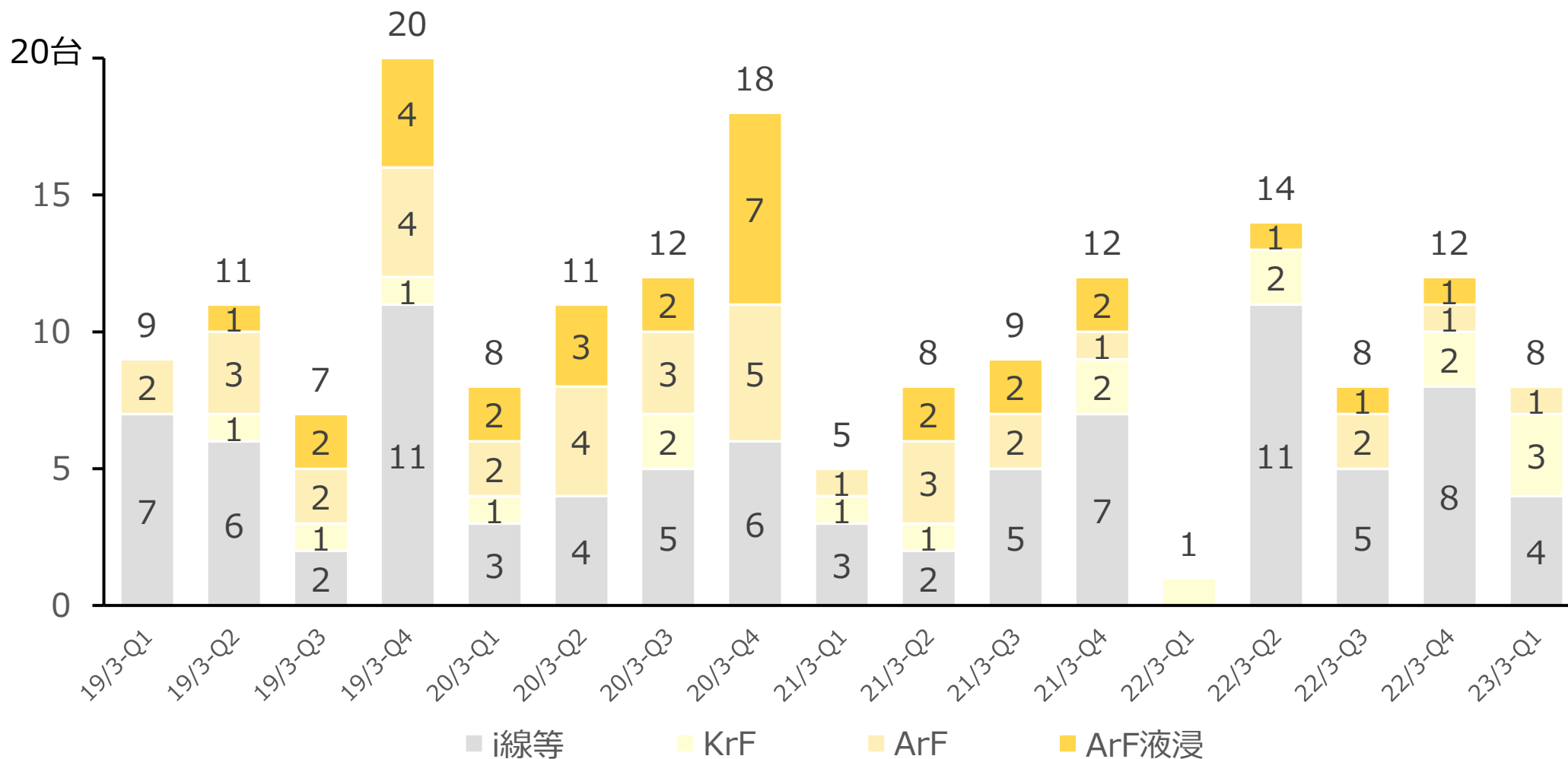


注：半導体露光装置台数の「i線等」には、i線を含む非微細化領域の露光装置（ミニステッパー）を含む（2019年3月期以降についても新しい台数の計上基準で表示）  
 注：半導体露光装置の新品の台数は、2019年3月期は27台、2020年3月期は38台、2021年3月期は23台、2022年3月期は17台、2023年3月期は39台（予定）

## FPD露光装置世代別内訳



## 半導体露光装置光源別内訳 (中古含む)



注：半導体露光装置台数の「i線等」には、i線を含む非微細化領域の露光装置（ミニステッパー）を含む（2019年3月期以降についても新しい台数の計上基準で表示）

# 2023年3月期 通期見通し：為替の影響



	為替レート	1円の変動による影響額	
	23年3月期 Q2～Q4前提	売上収益 Q2～Q4	営業利益 Q2～Q4
USドル	120円	約17億円	約3億円
ユーロ	130円	約5億円	約2億円

注：上記は新興国通貨がUSドル、ユーロに連動することを想定

- 本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的リスクおよび不確実性が含まれます。このため、今後様々な要因の変化によって、実際の業績は記述されている内容と大きく異なる場合があることをご承知おきください

